



令和2年6月26日(金) 第7号



【頼まれごと】は【試されごと】



一斉登校が再開されて、すぐに各クラスの学級委員と教科係が決定し、通常の学校生活が動き出しました。学級委員に関しては、複数の立候補者による「演説」のあと、投票でようやく決定したクラスもあったようです。さっそく翌日から、入室や着席の声かけ、教室の施錠など、いろんな場面で活躍するキミたちの姿が見られました。「しっかり仕事をしよう」、「集団に貢献しよう」というキミたちの気持ちが伝わるようで、先生たちはたいへん心強く思います。



委員・教科係の仕事の他にも、日直・給食当番・掃除当番など、みんなが何かしらの“仕事”をすることで学校生活は回っています。もしも誰かが自分の仕事を忘れたり、サボったりするようなことがあっても、その“仕事”がなくなることはないのです、他の誰かが仕事をするようになります。たとえば、掃除当番を忘れる人がいれば、その人がするはずの掃除を“誰か”が代わりにします。日直が黒板を消すのを忘れたら、“誰か”が代わりに黒板を消してくれます。つまり、他の“誰か”に負担が偏るワケです。日直にしても掃除当番にしても、1人ひとりに割り当てられた仕事はそれほど負担の大きいものではありません。でも、その仕事が“誰か”に偏ると、その“誰か”も次第にしんどくなってきます。そんなことにならないよう、委員・教科係・当番の仕事があります。

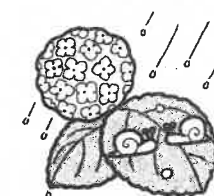


人から何らかの仕事を頼まれたとき、「しんどいなあ」、「嫌だなあ」という気持ちが湧いてきて、ムスツとした表情で仕事をする人がいます。日直・給食・掃除当番のときはどうでしょうか？

《「頼まれごと」は「試されごと」》という言葉があります。何らかの仕事をするとき、そのときの体調やコンディション次第では、なんとなく気分が乗らないときもあるでしょう。でも、そんなときは、「仕事をするときの自分が試されているのだ」と考えてみてはどうでしょうか？ 誰でも「楽しいこと」や「好きなこと」をするときは明るい表情で取り組みます。しかし、「しんどいこと」や「苦しいこと」に取り組むときはどうでしょうか？ そういうときこそ、その人の“本性”が表れるのだと思います。しんどくても、気分が乗らなくても、その仕事の中に“楽しみ”を見つけて、どうせなら楽しみながら仕事ができるような人になれば、誰からも信頼されるようになります。



第1回実力テスト



今週は、臨時休業中の課題(の一部)をテスト範囲として【確認テスト】をおこないました。テストの規模は、授業中におこなう「小テスト」と、定期テストなどの「大テスト」の中間ぐらいの、いわば「中テスト」といったところですよ。当然ながら、結果はまさに“人それぞれ”ではありますが、直前の休み時間には、誰もが熱心にテスト勉強に取り組む姿が見られ、テストに対する意気込みは、学年全体に共通していると感じました。今回の確認テストに限らず、国語科では漢字テスト、英語科では単語テスト、理科でも小テストが時々おこなわれます。どのクラスでも、直前の休み時間には、ひとりで黙々と勉強している人や、友だちと問題を出し合っている人の姿が見られることに、先生たちは感心しています。受験生として、心強いことこの上ないですね。

中学生という“お年頃”は、何かに対して「まじめに取り組む」ことを、どこか「カッコ悪い」、「恥ずかしい」などと思ってしまいがちです。その点、61期生の様子を見ると、そういうものはあまり感じません。個人差こそありますが、その時その時に取り組むべきことに、まじめに、熱心に取り組んでいます。そんなキミたちの姿が、今年は特に、「みんなで学校生活を守っている」ように感じられて、先生たちはしみじみと感動しています。ぜひこれからも続けましょうね。



さて、来週7月1日(水)には、いよいよ第1回実力テストが実施されます。実力テストは、その結果が、成績の資料になるだけでなく、今後、卒業後の進路を決めていく際の資料にもなる、大切なテストです。それなのに、実力テストはテスト範囲みたいなものがないので、「勉強せずに受けるもの」などと勘違いする人がいます。確かに、明確なテスト範囲のある定期テストとは勉強方法は違うでしょう。しかし、実力テストに向けて計画的に1・2年生の学習内容を復習していくことが、そのまま受験勉強にもなります。これから自分の志望校や目標を決めていく“指標”にもなる実力テストです。今からでもいいので勉強(1・2年の復習)をして臨みましょう。まずは、今週の確認テストの見直し・復習から始めてみましょう。それは十分「受験勉強」といえるものです。

保護者のみなさまへ ※「進学サポートフェア」のお知らせ

7月23日(木祝)、梅田スカイビルにて、「進学サポートフェア」というイベント(朝日新聞社主催)が開催されます。このイベントは、たくさんの私立中学・高校が参加するもので、保護者や生徒を対象に、入試傾向など最新の進学情報が提供されるイベントです。当日は参加校の入試担当者が個別に相談を受け付けるブースも開設されるなど、入試の情報を得る絶好の機会となります。志望校がはっきりと決まっていない生徒も多いとは思いますが、だからこそいろいろな学校が参加するイベントは、一度でたくさんの情報を得るチャンスになります。ただ、今回は、新型コロナウイルスの影響で、定員200名(3部制)の完全予約制になるようです(※25日現在、第一部はすでに締め切っていました)。興味のある方は、一度「進学サポートフェア」のサイトをチェックしてみてください。参加校の一覧や参加の予約も、そのサイトからできるようになっています。

